

履歴書

2011 年 12 月 15 日現在



ふりがな		よしい	
氏 名			
吉井		ひさの	
出身地	奈良	年齢	※
		(満 29 歳)	男 ・ 女
参加した NICE ボランティア		分野	
国際ワークキャンプ・週末ワークキャンプ・グループワークキャンプ		環境・福祉・農業・教育・開発など	
場所 (国・市町村まで記入)	日本各地・海外アジア		
受け入れ団体	全期間参加したのは… 日の出&東京港、塩沢、マレーシア(NICE)、モンゴル(MCE)インドネシア(I IWC)、フィリピン()、西日本の活動先いろいろ		
		満足度	
		80	
		活動のやりがい度	
		80	

こんなボランティアでした
初めて参加したモンゴルのワークキャンプでは、養護施設の子どもたちと一緒に一日中お野菜の収穫や保存準備をしていました。その後はナイス職員として、西日本のワークキャンプやアジアでのワークキャンプリーダーとして参加しました。

年齢	経歴
21 歳	NICE 関西事務局のボランティアスタッフ
	モンゴルの国際ワークキャンプに参加
22 歳	(特活) NICE 日本国際ワークキャンプセンター 関西事務局専従職員
27 歳	(特活) NICE 退社
	(特活) とちぎユースサポーターズネットワーク 専従職員
	とちぎユースワークカレッジ 農業プログラム担当
趣味・特技	食べること♪
座右の銘	未来は今の積み重ね
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
Au Pair としてアメリカに1年&旅行	
アメリカの公立小学校で日本語クラスのお手伝い	

記入上の注意 1: 鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2: 数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

3: ※印のところは、該当するものを○で囲む。

志望動機
アメリカでの経験が、
① ボランティアのイメージを変え、以前よりも興味を持ちました (→現地の人たちは活動先での出会いを楽しみ、その出会いが人生を豊かにしている様に感じました)
② 「豊かさ・幸せ」について考えるきっかけになりました (物質的な満足には限界があり、何が人生において大切な改めて考える機会でした)
⇒そんな事を考えている時に、青年海外協力隊の説明会でNICEのワークキャンプを知ったのがきっかけであり、志望動機でもあります。

行くまでに心配だったこと (どう乗り越えたか)
行く前は特に心配はしていませんでした。
怖いもの知らず、思い返せば怖いこともいっぱいあったけど行く前は期待のほうが大きかった気がします。
次回、行く機会があればその時の方が心配しそう・・・でも、行くだろうけど^^;

家族・友人・学校・職場の反応 (私はこうやって説得した！)
特に反対する人もいませんでした。私が気づかなかっただけかなあ!?
9.11テロ直後のアメリカに行った後の事だったので、親も慣れていたし、今更何を言っても聞かないと思ってたのかも。

ワークキャンプとその後の人生 (進路決定、参加経験が役立っていること等)
アメリカで出会った人たちから学んだ価値観を、ワークキャンプを通してより自分の中に落とし込めたと思います。そしてワークキャンプに参加した事によりNICEの職員として働く機会もいただきました。
NICE職員として働いた5年間は日本各地、世界で地道にコツコツと活躍している人たちと出会い、様々な考え価値観に触れることができました。また尊敬する方との出会いや一緒に考え活動するかけがえのない大切な人たちにも恵まれました。そんな人たちとの出会いが、今の自分をつくっている事は間違いないと思います。

成長ダイアグラム ※	これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪
	<p>迷っているのであれば、ぜひご参加を！</p> <p>参加してみて、自分は違うなあと思っても、その事自体が気づきであり、その後の自分をつくっていく大切な気づきになると思います。そして、その一歩は「1」ではなく「2」にも「3」にもなり、様々なきっかけや思いがけない出会いがそこにはあると思います♪</p> <p>と、自分自身の参加で感じ、NICE職員として参加された方の体験談をたくさん聞かせてもらった結果、今思う事です。</p>

※成長ダイアグラム (5=とても得るものがあつた・良くなった。4=まあまあ得るものがあつた・良くなった。3=前と変わらなかった。影響なし。2=前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1=前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。)